

森林業関係者向け講座

(興味関心のある方・行政関係者も大歓迎！)

日時：令和7年9月30日(火)

15:00~17:00

会場：遊学舎(研修室1,2)

(秋田市上北手)

受講：無料

定員：先着20名

講師：宮本英樹氏

*座談会形式の講座です

主催：秋田県 受託団体：特定非営利活動法人Akitaコドモの森
tel018-827-6465 mail akitakodomonomori5050@gmail.com

申し込みは↓



宮本英樹が語る



秋田の持続可能な森づくり&運営のヒントを探る!!



伐採整備だけではない、森林の様々な形での資源活用。その一つが未来を担う子どもたちの受け入れである。なぜ子どもたちを森に受け入れるのか？自然体のように見えて生態系等自然保護も考えて手入れされた森とは。また機械に頼りすぎない森づくりとは。さらに基盤となる運営を考えた時に見えてくる森の恵とは。これからの時代、秋田の森林に何が求められていくのか。どんな役目を担うのか。どんな可能性があるのか。北海道で、時代を読み様々な取り組みをされている宮本氏は、今秋田の森林に注目。みんなでヒントを探りましょう。



講師プロフィール

1969年 北海道置戸町生まれ。
実家は農業・林業を営む。
地方新聞社を経て自然学校の設立に専務理事として参画。その後も道内の自然学校・ネイチャーセンター等の立ち上げに関わってきた。2004年北海道が行った協働型政策検討システム事業のメンバーとして「木育」を提案。現も木育マスター育成に努める一方で、森林・農地200hにて、大沼流山牧場・大沼森づくりネットワーク・どさんこミュゼの運営を行い代表も努める。林野庁からの依頼を受け、日本初の幼児向け森林環境教育ガイドブック「もりのなかでこどもはかがやく」を監修、官庁発行物としては異例のヒットとなる。



この講座は「秋田県水と緑の森づくり税」を活用しております。